

## 「新年度のご挨拶」

秋田県立秋田きらり支援学校  
校長 松井 智子

このたび着任しました松井智子（まつい さとこ）と申します。平成22年の開校時に勤務しておりましたので、なつかしく、また当時と変わらず子どもたちの笑顔あふれる学校で過ごせることをととてもうれしく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、肢体不自由や病弱の児童生徒が学んでいる学校で、今年度、開校から15年目を迎えました。4月9日の入学式で23名の新入生を迎え、小学部50名、中学部21名、高等部28名の全校児童生徒99名、教職員141名で、令和6年度がスタートしました。

本校は、教育目標である「児童生徒の多様な教育的ニーズに応じて、医療療育機関と連携した安全な教育環境のもとで、自立と社会参加に必要な力を育成する」を目指し、本年度の重点を次の4点としました。

- (1) 防災や感染症対策、医療的ケア等、安全・安心な教育環境の整備
- (2) カリキュラム・マネジメントの推進と児童生徒主体の授業改善
- (3) キャリア教育の充実と生涯学習につながる資質の育成
- (4) 病弱教育サポートセンターを含むセンター的機能の拡充

目指す児童生徒像として、「自ら学ぶ」「豊かに表す」「健やかに生きる」「手をつなぐ」の4つを掲げております。児童生徒の主体性を大切にしながら、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を推進し、「楽しく、明るく、伸び伸びと学べる」学校を目指します。

新型コロナウイルス等への感染症対策は引き続き行いながらも、校内外の方々とつながり、豊かな体験、学びを重ねていきたいと考えております。7月には5年ぶりに「かがやきの丘まつり」を再開し、地域交流や地域連携を推進いたします。また、本校の使命である県内唯一の肢体不自由教育校としての役割、病弱教育のセンター校としての役割の推進や、医療療育センターや視覚支援学校、聴覚支援学校と連携したセンター的機能を一層充実させてまいります。

地域の皆様、関係の皆様、保護者の皆様には、本校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。